

横山幸次

区政報告
ニュース

582

2015年7月19日
発行 日本共産党区議団
3802-4627
fax 3806-9246
✉ arajcp@tcn-cat
v.ne.jp
町屋相談室
荒川区町屋5-3-5
3895-0504
✉ yoko1951@aol.jp

横山幸次区議のホームページ・ブログ・ツイッターを
ご覧下さい。横山幸次で検索して下さい。

掛川市の「ふくしあ」を視察… 「地域包括ケア」に向けた取り組み

これからの
介護保険は



「ふくしあ」のフロア



「ふくしあ」にある職种	職務	業務内容
行政	保健師 事務職	医療 保健 福祉 介護の相談 支援 情報提供 申請受付
地域包括支援センター	主任介護支援専門員 保健師等 社会福祉士	高齢者各種相談 支援 介護保険に関する相談 介護予防事業の利用に関する相談
社会福祉協議会	コミュニケーションソー シャルワーカー	地域福祉活動支援 見守りネットワーク
訪問看護ステーション	看護師 PT、OT 介護支援専門員 事務職	訪問看護 訪問看護利用に関する相談

掛川市 人口11万7千人
高齢者人口 約2万8千人超
「ふくしあ」は、この市内を5つの地域
(それぞれ高齢者人口3千人から7千人)に
分けて設置。体制は、市の保健師が全て1名
配置されている。訪問介護を除いて9名から
10名程度の職員配置になっています。

医療、保健、福祉、介護…一体的取り組みで
「制度の隙間落ちる」住民をフォローする試み
7月8日、区議会福祉・区
民委員会で静岡県掛川市の地
域健康医療支援センター「ふ
くしあ」を視察してきました。
事業全体は、「地域医療体制
整備と医療、保健、福祉、介
護による総合支援体制の構築」
というものでとても全てを紹
介できません。そこで、荒川
区との比較で今後検討すべき
「ふくしあ」という名称の支
援センターについて考えてみ
たいと思います。

この事業の出発点は、医
療危機（医療資源が少
ない）家族構成の変
化（家族による支援応
力の低下） 社会変化
への対応（地域の变化を見て
活かす） 垣根のない支援必
要性（必要な支援が受けられ
ない人や症状年齢に囚われな
い支援体制）など住民の実態
から出発したと言います。
そこで、各地域（現在5地
域）に行政（市）、地域包括
支援センター、社会福祉協議
会、訪問看護ステーションを
一つのフロアに集約し
た「ふくし
あ」を設置

（左図、表参照）。「住み慣
れた地域で最後まで暮らせる」
ように多職種連携の地域拠点
という位置づけです。お訪ね
した「中部ふくしあ」はワン
フロアに「行政」「包括」「社
協」「看護」の看板があり、
そこで全職種が働いていまし
た。荒川区の場合、行政の部
分が介護、福祉などの現場か
ら遠のいているように感じま
す。行政・包括・社協などま
どが地域住民を丸ごと支える
仕組みとして検討す
べき多くの教訓があ
るよつに感じました。



横山幸次

「違憲の安保法案は廃案」オールあらかわアクション
400人の参加で成功、沿道からも声援や途中参加も
7月12日「オールあらかわア
クション」開催。炎天下の中4
00人が参加しました。本日に
党派や考えの違いを超えて「安
保法案は違憲 廃案に」（私ど
もは明確に戦争法案が本質と見
ていますが）を一致点にもたれ
た集会、デモは、荒川区ではじ
めてのことです。民主党・市民
の会、民主党前都議の方などは
最後まで行進、町屋駅での共同
宣伝にも参加されました。衆院
では、自公安倍政権が、強行採
決という暴挙に出ましたが、ど
う見ても追いつめられた結果で
す。いまや戦争する国だけでな
く民主主義も破壊する安倍政権
を追いつめましょう。

裏面 90号線の都電軌道
はどうなる、戦争法案など

定例法律相談会

8月の定例 相談はお休み します。

なお、お急ぎの
方はご連絡下さい。

お急ぎの場合は、北千住法律事務所
の相談日などご紹介します。生活相
談は、随時受け付けています。
TEL&FAX 3895-0504
不在時は、留守電へ、後で連絡します。
区役所控室 3802-4627

90号線・町屋駅から都電沿いの道路拡幅 サンパール通りの一部で都電軌道が中央に



90号線（荒川遊園・熊野前・町屋・サンパール通り）の道路拡幅のうち、町屋駅からサンパール通り、そして明治通りに抜ける部分の計画を東京都は2020年のオリンピック・パラリンピックを目的にすすめるとしています。しかし住民お一人お一人の生活・ご商売の再建などを考えればとてもあと5〜6年で完成するわけがありません。7月28日、30日と「用地説明会」が行われますが、住民の理解や納得なしには進みません。

まちづくりの上からも課題は多いようです。とりわけ、京成駅ホームの下を90号線が通過する計画ですが、現在の駅的位置変更や高架の改造など大変更の位置変更や高架の改造など大変更町屋駅周辺も、電停周辺が大きく変わります。京成線高架の工事も大変ですが、何りも関係住民のみならず、皆さんの理解と納得を最後まで最優先すべきです。

町屋駅周辺も、電停周辺が大きく変わります。京成線高架の工事も大変ですが、何りも関係住民のみならず、皆さんの理解と納得を最後まで最優先すべきです。

「安保関連法案」＝「戦争法案」の 強行採決と主権者国民の世論は…

7月15日衆院特別委員会で「安保関連法案」＝「戦争法案」が自民、公明によって強行採決されました。今回の採決強行は、違憲立法というだけでなく、「違憲」成立させるべきでない「国民の多数の意思を踏みにじるものであり、国民主権の根本原理を蹂躪するものです。絶対に許されないと考えます。憲法に縛られる権力が、それを「壊す」のは独裁政治への道であり近代民主主義・立憲主義に反するもので絶対に許されません。

同時に今回の強行採決は、国民から追い詰められた結果です。この間の世論調査を見ても、ほぼ全ての報道機関調査でも反対が多数です（右グラフ）。唯一、産経・フジが賛成多数となつていますが、同じ調査で同法案が「憲法違反」という回答

が多数になつてきているのです。まさに戦争法案が憲法違反であることは自明のことです。国政だけでなく地方政治でも憲法を最高法規とする「法」を遵守することは、政治の安定性を確保する根幹です。今回のように憲法違反の法律を数の多数で押し通すことは、紛れもなく「独裁的手法」そのものです。同時に、憲法を無視するとすれば、権力を縛ることを憲法を通じて命じた国民、そして国民主権を全く無視するものです。こんなことを許すわけにはいきません。（署名運動も引き続き重要です。ご協力をお願いします）

安全保障関連法案についての各社の世論調査結果

